中期経営計画2028概要

中期経営計画の概要

中期経営計画
https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/strategy/mid_plan.html

あすか製薬ホールディングスグループは、長期ビジョン「ASKA VISION 2035」の実現に向けた次の成長ステージとして、中期経営計画2028を策定しました。本計画では「国内医療用医薬品事業」「創薬事業」「グローバル事業」「アニマルヘルス事業」「検査・アラウンドピル事業」の5本の柱の成長を推進するとともに「財務戦略」と「経営基盤強化」の2つの土台を強化し、持続的成長とグローバル展開を支える事業基盤の構築を目指します。2028年度には、売上高850億円、営業利益率10%、ROE10%、総還元性向40%を目標に掲げ、事業成長と資本効率向上の両立を図ります。

国内医療用医薬品事業では、産婦人科、内科（消化器・甲状腺）、泌尿器科を中心とするスペシャリティ分野の強みをさらに深化させるとともに、新製品の育成や治療領域の拡大を進めます。創薬事業では、オープンイノベーションやAI技術を活用し、継続的な新薬創出と早期グローバル導出を目指します。また、治療用アプリなどの新たなモダリティへの挑戦を通じて、価値創出に取り組みます。

グローバル事業では、Hataphar社およびMedChoice社を中核に東南アジアでの事業拡大を推進します。アニマルヘルス事業では製品ラインナップの拡充と市場開拓を進め、検査・アラウンドピル事業では独自の分析技術を活用した収益機会の創出を目指します。

2つの土台のうち、財務戦略では成長投資の拡充、資本効率の向上、株主還元の強化に取り組みます。経営基盤強化では、DX・AXの推進、人材育成、ESG経営の深化、ガバナンス強化を通じて持続的成長を支える組織基盤を構築します。これら5本の柱と2つの土台を着実に推進することで「日本発のグローバル・スペシャリティ・ヘルスケアカンパニー」として持続的な成長と企業価値の向上を実現していきます。

2028年度 財務目標

売上高	営業利益率	ROE	総還元性向
850億円	10%	10%	40%

基本方針

事業戦略	財務戦略	経営基盤強化
● 医療用医薬品事業の強化 ● 事業ポートフォリオの拡充 ● 海外事業の進展	● キャッシュ・アロケーションの最適化 ● 資産ポートフォリオの見直し ● レバレッジの活用 ● 総還元性向40%を基軸に機動的な自己株買いを検討	● 次世代人材の育成・獲得 ● ESG経営の推進 ● DXによる生産性向上 ● ガバナンス強化による安定的な経営

行動指針

1. 高い専門性をもとに多様な健康課題解決へ貢献します
2. 国や地域を超えて連携を深化させ、市場ニーズに応えるソリューションを提供します
3. 長期的な視点で経営資源を最適に配分し、社会からの信頼と企業価値向上を実現します

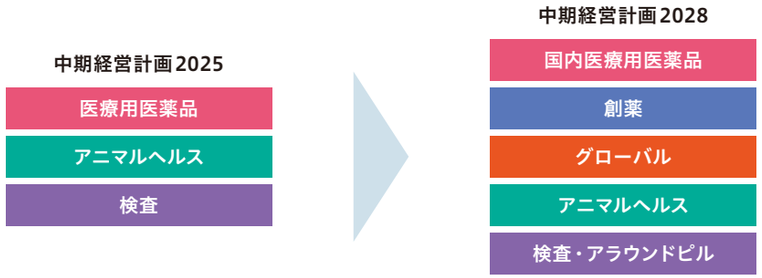
イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ

事業ポートフォリオの見直し

当社グループは、中期経営計画2028の策定にあわせて、成長戦略における事業ポートフォリオを見直しました。これまでは「医療用医薬品事業」「アニマルヘルス事業」「検査事業」を中心とし、2025年度には「グローバル事業」を加えて事業展開を進めてきましたが、中期経営計画2028では「国内医療用医薬品事業」「創薬事業」「グローバル事業」「アニマルヘルス事業」「検査・アラウンドピル事業」の5本の柱を成長戦略の中核に位置づけました。

今回の見直しは、将来の成長ドライバーである創薬事業とグローバル事業の価値をより明確に示すことを目的としています。創薬事業は、継続的な新薬創出とライセンス収入の獲得を通じて企業価値の向上を担う事業であり、研究開発投資の成果やパイプラインの価値をわかりやすく示す観点から独立した柱として位置づけました。また、グローバル事業は、Hataphar社およびMedChoice社を基盤に東南アジアでの事業拡大を進めており、今後の収益成長を牽引する重要な柱として位置づけています。

こうした事業ポートフォリオの見直しにより、各事業の成長性や収益性をより分かりやすく示すとともに、経営資源の最適配分を進め、持続的な企業価値の向上につなげていきます。

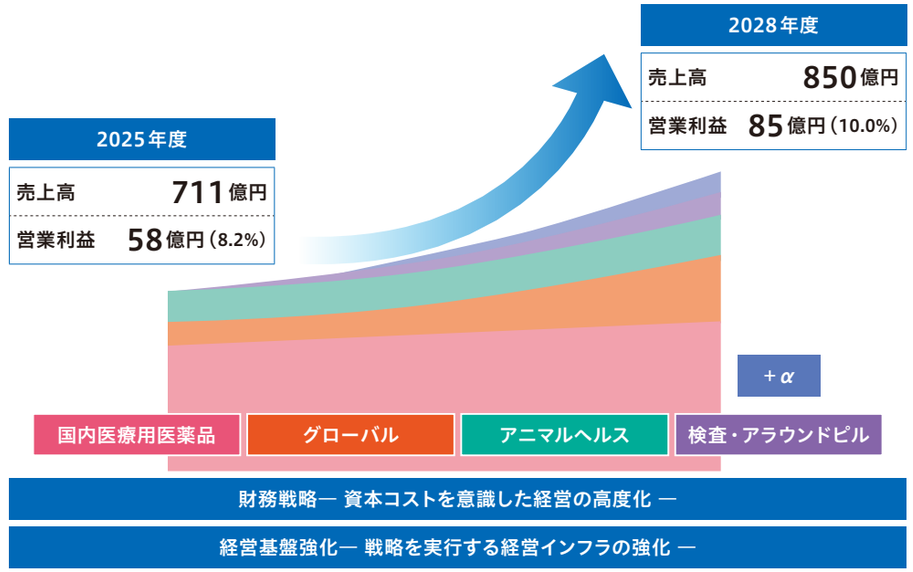


目標と事業別重点取り組み

中期経営計画2028では「ASKA VISION 2035」の実現に向けた第一段階として「5本の柱」と「2つの土台」に基づく成長戦略を推進します。2028年度の財務目標として、売上高850億円、営業利益率10%、ROE10%、総還元性向40%を掲げ、事業成長と資本効率向上の両立を目指します。

事業面では、国内医療用医薬品事業におけるスペシャリティ領域の深化をはじめ、創薬事業ではAIやオープンイノベーションを活用した新薬創出とグローバル展開を推進します。また、グローバル事業では東南アジアでの事業拡大、アニマルヘルス事業では製品拡充と市場開拓、検査・アラウンドピル事業では独自技術を活用した収益機会の創出を進めます。

「財務戦略」と「経営基盤強化」を成長基盤と位置づけ、資本効率の向上、成長投資と株主還元の両立、DX・AX、人材育成、ESG経営、ガバナンス強化を推進し、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。



国内医療用医薬品	・ウィメンズヘルスをリードする企業としてさらなる成長を目指す ・新規疾患領域への進出
創薬	・産婦人科領域において独自の強みとなる創薬基盤の構築
グローバル	・Hataphar社、MedChoice社の事業基盤構築 ・Hataphar社の新工場稼働および販売製品の拡充
アニマルヘルス	・コンパニオンアニマルや畜産動物向け製品の売上拡大 ・商流拡充に向けた新たな挑戦
検査・アラウンドピル	・微量分析技術による事業を軸にビジネスパートナーとの協業を推進 ・性や加齢に関する検査の拡充

イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ